

【教育目標】将来に希望を持ち、豊かな人間性と実践力を持った生徒の育成

めざす姿

【めざす生徒の姿】

将来に希望を持ち、豊かな人間性と実践力を持った生徒

知 確かな学力を身につけた生徒

徳 豊かな人間性を備えた生徒

体 健康・体力を備えた生徒

【めざす教師の姿】

専門職としての資質を備える教師

学び 一人ひとりの学びを大切にし、自らも学ぶ教師

自主 新たな課題に自主的に取り組む教師

協同 共通理解と協同歩調で実践する教師集団

【めざす学校の姿】

家庭や地域の信頼に応える学校

表現 生徒自らの学びを表現しあう学校

連携 家庭や地域と連携する学校

環境 安全で環境の整った学校

重点目標

1 生きる力の向上

1 知(確かな学力)の向上

問題解決能力向上に向けた授業改善／学びを表現しあう教育活動／読書活動の充実

2 徳(豊かな人間性)の向上

規範意識の定着／人と人をつなぐ人権学習の充実／道徳心や命を大切にする教育の充実／自尊感情を高める取組／キャリア教育の視点を重視した体験活動の充実

3 体(健康な心と体)の向上

基本的生活習慣の定着／体力向上に向けた取組／部活動の充実／食育の推進

2 開かれた学校

1 教育活動の公開

授業・部活動の公開／行事の公開・参加協力／情報の発信

2 家庭・地域との連携

家庭での生活チェック／授業への学習支援ボランティアの参画／地域行事への参加／関係諸機関との連携強化

3 安全・安心な学習環境

1 危機管理体制の強化

危機管理マニュアルの点検と実践／実効力ある防災訓練／事案対応における検証と地域啓発／報告連絡相談の徹底

2 施設設備の保守点検及び修繕の徹底

整理整頓の徹底／安全点検と修繕の日常化

基盤 教職員の資質・能力の向上

問題解決能力向上に向けた授業改善／危機管理意識の向上や生徒指導に関わる教師力の向上／特別支援教育の充実／各分掌担当による実施計画立案と自己評価の実施／経験や職務内容に応じた研修システムの充実／ゆとりある教育活動の創造(適正な勤務体制と労働環境の整備)

具体的方策

【重点目標1】 生きる力の向上

「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康な心と体」のバランスのとれた生徒の育成に努めます。

＜本年度の具体的方策＞

- 基礎学力の定着と問題解決能力を育む教育を実践します。
 - 聴く力を基盤に、生徒が主体となった「学び合い」の授業を通して、思考力の育成を図ります。
 - 表現し合い受け止め合って学びを深め、学びに向かう意欲を喚起する場の設定に努めます。
 - I C Tを活用した授業を推進し、考えを深め表現力を養う授業づくりに取り組みます。
 - 個に応じた指導・支援・合理的配慮に努め、「富中タイム」を活用して家庭学習の充実を図ります。
 - 朝の読書活動を継続し、図書室利用の活性化と教師による読み聞かせ活動に取り組みます。
- 体験活動を活かし、道徳的实践力と豊かな人間関係を育む取組を充実させます。
 - 集団生活におけるルールや心がけ等を教育活動すべての領域で指導し、社会とのつながりを意識した学習と体験を重視したキャリア教育に取り組みます。
 - 人権問題について計画的に学習し、いじめや差別を解決する意欲と行動力のある自尊感情の高い生徒を育成するために、仲間づくり・学級づくりを充実させます。
 - 道徳教育全体計画等に基づき、豊かな人間性と実践力を持った生徒の育成に努めます。
- 生活リズムや食生活・運動量を見直し、健康な心と体の育成を図ります。
 - 生徒の生活実態調査や食生活・健康診断状況・体力測定結果を分析し、専門家（学校保健委員会）等による助言と改善に取り組みます。
 - 保幼小と連携し、生徒の運動意欲の向上と、運動量と質の改善に取り組みます。
 - 部活動を通して、集団規律とマナーの徹底及び自治する力の向上に取り組みます。

【重点目標2】 開かれた学校

家庭・地域・学校が共に生徒を育てる、開かれた学校づくりを目指します。

＜本年度の具体的方策＞

- 学校の教育活動を積極的に発信するとともに公開します。
 - 授業・行事・部活動の公開を積極的に行います。
 - 学校だより・学年通信を定期的に発行するとともに、タイムリーで魅力的な学校ホームページの充実に努めます。
- 家庭・地域と連携した取組を推進します。
 - 家庭教育を支援するための講演企画や情報資料を提供し、啓発を推進します。
 - 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加することを推進します。
 - コミュニティスクール運営協議会を中心に、地域や関係機関・専門機関との連携を密にし、皆で生徒を育てる環境づくりに努めます。

【重点目標3】 安全・安心な学習環境

生命の尊重を軸とした、危機対応の充実と学校施設設備の安全確保に努めます。

＜本年度の具体的方策＞

- 危機管理の体制を実効力のあるものとします。
 - 危機管理マニュアルの継続的な見直しを図ります。
 - 津波を想定した実効力のある訓練を定期的の実施します。
 - 教師間の連携を密にし、きめ細かい生徒指導と事後の検証・改善及び地域啓発を行います。
- 定期的な設備点検と日々の修繕・美化活動に取り組みます。
 - 危険箇所や破損箇所は直ちに修繕します。
 - 常に整理整頓を心がけ、美しい学習環境づくりに努めます。

現状と課題（平成30年2月）

【強み】基礎学力の向上のための指導方法の工夫がなされている（重点1）。生徒が自発的にルールを守り、落ち着いた学校生活を送り、授業マナーの向上に取り組み、授業態度も良い（重点1）。定期的に情報を発信し、行事の公開や土曜授業を行い、地域の行事にも積極的に参加している（重点2）。「めあて」「ふりかえり」のある授業改善を出発点として 問題解決能力の育成を目指した授業研究が定着してきている（基盤）。学びの一体化の取り組みの中で小学校・中学校を通じて育てていく力を明確にして実践につなげている（基盤）。

【弱み・改善点】生徒の基礎的・基本的な学習内容の充実（重点1）。C R T等のエビデンスを継続的に活用した支援（重点1）。生徒の生活習慣改善と家庭学習の習慣化に向けたはたらきかけ（重点1）。生徒の体力・運動能力の向上（重点1）。より良い人間関係を育てる道徳教育・人権学習・学級経営の充実（重点1）。幅広く読書に親しむ生徒を増やす（重点1）。HP等、全教職員が積極的に情報発信できるようにする（重点2）。地域と連絡を密にとりながら継続して防災訓練に取り組む（重点3）。生徒への健康・安全教育の充実（重点3）。目的意識を持って研修に取り組み自己研鑽に努める（基盤）。教師のミドルリーダーの育成（基盤）。